

令和5年度地域活動支援事業審査会概要

日時：2023（令和5）年3月5日（日）

場所：ゆめぼりすセンター2階大会議室

午前9時30分開会

- ・中西地域連携部長挨拶
- ・岩崎審査委員長挨拶
- ・日程説明

午前9時45分提案発表

提案者

①里山をしる会

事業名：里地里山保全・活用事業「里リコ」

②依那古語り部の会

事業名：「依那古語り部の会」スタートアップ事業

③伊賀・赤まんまの会

事業名：消えゆく校歌の収集編さん事業

④伊賀市災害ボランティアセンター

事業名：外国人防災リーダー育成事業

午前11時40分

- ・審査結果発表
- ・岩崎審査委員長講評

審査委員の方々は少し入れ替わりがありました。昔やっていた方が復活されたりと。昔との比較の話が出たりしました。

今年の4団体の皆さんのプレゼンテーションは非常に良かった。継続ということもありますが、昨年の課題を踏まえてこれからどうするのか、3年目の年として最終の着地点をどうするのか明確でありました。非常に審査がしやすかったです。そういう意味では4団体とも私どもは自信を持って市長に推薦させていただこうと思っています。どうか、この

1年また最後の年を迎えられる団体さんもいます。がんばってやっていただきたいです。

採択の通知のところで私たちが個別に書かせていただいたコメントは、まとめて皆さまの方の団体に送らせていただきますので参考にしてください。

審査会の間でこの際特に伝えておく必要があるのではないか、他の団体さんにも聞いていただきたいことをまとめましたのでお話をさせていただきます。

伊賀市災害ボランティアセンターさんの取り組みについてであります。

プレゼンテーションでもありましたが日本人の側の問題、これはもう一度ちゃんと捉えなくてはいけない。特に自治会・自治協と外国人リーダーやそこに居住する外国人住民との関係をもう一度明らかにしなければならない。

伊賀市全体でやるわけにもいかない、地域によって外国人の多いところ、少ないところがある。多くの外国人が住んでいる自治会がひとつモデル地区みたいな形で防災訓練、避難所開設、避難所で一泊してもらったらいろいろな課題が出てくるはずであります。モデル地区でやってみるのも一つです。日本人の側の課題を浮き彫りにすることが重要なのではと思いました

来年度で事業終了する伊賀・赤まんまの会さん。ご苦労さまでした。この後の活用ですよ。名張市は要望あるだろう。できれば高校も欲しいと思いますが、せっかくこれだけ集めたのだからノウハウを市外で伝えていただくのは良いですが、できあがったものを市内でどう有効活用するか考えていただきたいし、プレゼンテーションでもありましたが、皆さん歌えるわけですから御年をめしたかたが回想法の一つの教材として校歌を聞いてもらって“あの時、地域はこうだったよね” “こんな手遊びしたよね”などを語ってもらう、絵にかいてもらう。認知症の傾向が少しある人らに昔を思い出すことによってよみがえってくる話はよくありますので、回想法の一つの教材として使うことが可能であるようなそんな使い方を考えていただきたい。市内でどう使っていただくか考えていただきたいです。

里山をしる会さんのプレゼンテーションはすごくおもしろかった。ただみんなで話し合った時にマツタケは目標として高すぎるんじゃないか。シンボルは良いですよ。マツタケがぼこぼこ生え出したら入山料は取るしかない。勝手には採れない世界になってしまう。

マツタケを採るのを最終目標は良いが至るまでの中間目標はいるのではないのでしょうか。

プレゼンテーションで団体との関係性をしっかり伝えていただきましたが、事業計画や

予算書と突合した時に必ずしも一致していなのではないのでしょうか。少し課題があるのではないのでしょうか。

依那古語り部の会さんは、まさにこれでスタートアップとしてはもういけるだろう。こだわりたいのは一回千円でなく一人千円を絶対とるべきだと思います。

前に屋久島へ行った時に、屋久島の集落ごとに語り部の会の人にガイドしてもらいました。屋久島のガイドは1人千円払いました。半日ですが地元の人らに色々巡ってもらい話しをしていただきました。そこではガイドブックを販売し、ガイドブックをまとめる資料集の販売も考えていました。

知らないことは山のようにあるし、古民家の民泊もあるわけですから古民家あれば外国人が絶対に来ます。そうすると簡単な英訳をつけたガイドブックが必要になってくるのではないのでしょうか。1人千円では合わないけれども、これからコロナ明けで来る人らに提供できれば良いなと思いました。

本日、4団体の話を聞かせていただき私たちも勉強させていただきました。ありがとうございました。

また一層この事業の計画をもう一度リファインして来年度以降、どう継続させていただくか、この補助金事業のエントリーされること以外にどう事業を継続させるか伊賀市のためにどう活用していくのかお考えいただき活動していただけたらと思いました。

長時間ありがとうございました。